

結婚式の改善を

農家が豊かになるには

中里村の農家の収入は、粗収入で一戸平均十七万二千三百六十二円である(昭和三十一年度)。これから生産のための諸経費、労力等を換算し、差引いたらどの位残るだろうか……にも拘らず、一婚儀に例をとって見ても、平均十五万円はかけている。これでは食糧の不足も食えず、着たいものも着れず、朝早くから夜遅くまで働いても、子供の三人も持てば一生四苦八苦は當然である。

ではこれを何とかもう少し少ない経費であげられないものだろうか。公民館では結婚から筆筒、ふとん、茶事一切で五万円ならおつりがくるという。

そこでこれについて事務局にきいてみたら「かけるもかけないも要は仲人次第。なんで世間体なんて事はあなた一人だけではなくみんなが持つていける事だ」と云う事を見出せない所に問題がある。これが相互のけんせいにたつて、目出度

これでよいのか!

嫁入費用の中でその大半は「のみくい」と「きもの」の金です。こんな人に限つてふだんは身も細るようなけん約をしている。



かすべき事を、裏でため息をつくとかう結果になり、親も娘もこの悪いゆんかん社会で苦勞するのが今日私達の村の現状だ」と語つてゐる。更に次のようにやりなさいとのことだつた。

- 一、結婚最高一萬圓程度に酒肴料千圓程度と、末廣一対だけとし、結婚式當日持参する。
- 二、調度品は最高タンス一棹、こすり、鏡台、針箱、夜具一揃程度とする。嫁の荷物を嫁家に飾る事をやめる。
- 三、婚禮の花嫁衣裳は新調を見合せ、貸衣裳等有合せの物を使用する。
- 四、當日花嫁は式服だけとし、着替は一切しない。
- 五、嫁の迎え女は廢止する。
- 六、結婚式に列席するものは新郎新婦、両親、仲人、親戚總代一名計六名位とし、貰う方では、新郎新婦、両親、近親者程度とする。招待された者の手持は金五百円と末廣一対とする。
- 七、式は一日を以つて終る荷送りは午前中とし、荷送り人の祝儀は金二百圓とする。午後結婚式及祝宴をあける。予定時間は約二時間式後茶事を行う。嫁の両親等は宿泊せずに帰ることを原則とする。
- 八、結婚式祝宴の料理は七品位、酒三合程度とし、費用一人當り三五〇円位とする。
- 九、結婚披露場には、新郎新婦は同席する。
- 十、土産物は家に對するめいめいは止めて一家一個とする。
- 十一、茶事に招かれた者の手持は、金五十圓と末廣一対とする。

このあと「今年は何作が今のところ予想されていますが、この機会にこそ改めるべきところは改めるべきです。

誰も悪い所や苦しい処は見られたいのが人情でどうにかするときこそ断固改善する力が出、世間も

何も云わんものです。しかも農家は経済には比較的鈍感ですから氣付いた時には借金で動きがとれず山賣れ、田賣れといふことにならんだ」といふつかの例を上げて語ってくれ、断然私も息子の嫁入りには相手方にこのことを話して實行することにした。

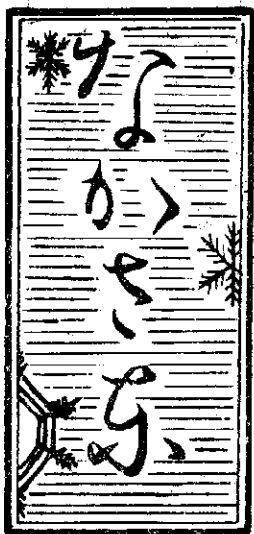
所有地及び耕作地の申告

農地法の規定により、毎年八月一日現在で實施される小作地及び耕作地の所有状況調査が近日中に實施される。

この調査目的は農地法に規定されている統制を維持し、農地政策の進展を図る爲、八月一日現在の事實上、基いて全農家を對象とし、農地及び耕作地の所有状況を申告により調査するもので、所有制限以外の小作地及び小作採草地の有無又は許可を受けない所有権、債権を移動している農地又は新たに發生した小作地等を知り、これらをそれぞれ適法に處理すると共に、各農家の経営状況を正確に把握するために重要な協力が望まれている。

俳句

雪の峰追へつ若葉の秀と
秋陽
茶の花を咲かせて貧家の中
一 聲
薬の花片明ける裸婦の像
娘の世辭も眞赤な葎買わさ
るる
田植笠と乳房抱き来る兒待
つ蛙 春 雷
背を向けて縁談は妹薄摘む
惜敗の基石に河鹿の聲止み
ぬ 桂 仙
果樹植える果を見る誰かい
つ頃か
短夜の明け初むほどに輪の
響 紫 紅
漬桶のかびを洗って五月晴
れ
知るんた知る田植えによる
こびや 峰 月
新妻の野良疋新らし初田植
え
桐の花大地を埋めて夕灯り
大 花
枝蛙る茂みないて豊深し
別れ逝く妻に草笛子と吹け
り 眞 湖
絹漉しに雨の甘藷植えて長
豊 慶
蛙と瀬戸の月下に結ぶころ
と 泉 芳
振り返る心も持てず豆ほ
じらる



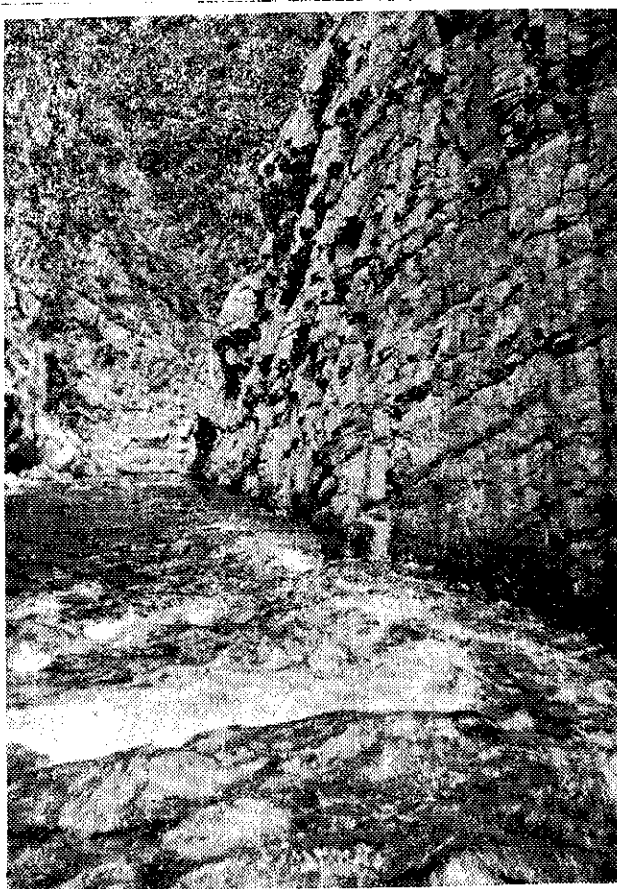
発行所 民館
中里村公所
印刷所 新報社
十日町

清津峡道路は公団 て開発

七月定期記者會見で鈴木副知事は、三國国道の隧道が今年中に貫通し、來年のこれが照明設備をもつて完成するので、東京から新潟間はトラック輸送で十時間位となり、石打、水上間のトンネル構想が實現すれば日歸りも可能となり、新潟はもう東京の郊外といふことになるので、清津峡の開発で上信越高原国立公園は箱根や軽井澤のような別荘地帯にならう。

又縣としても着々これが實現への手を打つてゐると大要次のように語つた。

▽副知事談
清津川の綜合開發の一環として東電が二居地光に一萬六千KWの發電所を建設する八木澤のダムは近く着工をみるが、同ダムを發電のほかに下流に二千町歩を開



田する開墾、治山、治水上の多目的ダムにしたいと現在建設省に要請してあり、更に三國国道や上越線のスピードアップにより清津峡を含む上信越高原国立公園を箱根や軽井澤の様な別荘地帯にしよつとという構想も、国立公園審議會委員の田村桂氏や、下村海爾氏あたりが日本一という折紙付で推奨してゐるので、目下石打から十二峠を越えて清津峡小出温泉に出る周邊觀光道路の整備を道路公團でやつてもらつよう道路課長が交渉に當つてゐるが、整備には三億位を要しよう。

その他周邊にスキー場の整備、ゴルフ場の設置計畫がすゝめられており、その費用として縣外資本一億五千万圓ばかりの導入が考え

開発をまつ清津峡

「備あれば憂なし」「治に居て乱を忘れず」など昔から云われてゐるが、防犯はこの考え方が村の末端まで本心に徹底すれば、犯罪絶無も夢ではなからう。

例年盛夏から残暑にかけて忍び込み、性犯罪が多く

發生するのは一般に暑さのため服装が解放的になるばかりでなく、身も心もゆるみを見せ、わざわいを招く隙が多くなるからである。

その一つは戸締りの不完全である。戸締りは夜寝る前に必ず一巡し、雨戸、格子窓、湯殿、勝手場、横窓等鏡をかけ、外部から容易に外れないようにしなければならぬ。

又屋内は消灯し、外の点灯などに心掛けると共に、刃物、その他兇器として利用されるようなもの、あるいは金目のものは人目のつくようなところに置かないように習慣づけるべきである。

その二は性犯罪である。これからお祭り、映畫などで夜の外出の機会が多くなるが、この機会を狙つて不良等が待伏せ、尾行、誘ひ出し等を謀つて女を襲う例が多くなる。

その原因を突つめて行け

向が明らかになれば、更にこの一日農地部長の清津川沿岸その他の調査が行われ等最近活發なる動きがみられてゐる。

ば、女の人の思慮が足りなかつたと云ふ一語につき、曲線を露骨に出した(大きく開いた胸、手足、あらゆる腕、太腿の出るようなスカート)容姿をしないようにし、一人歩きの場合は通る道が人けのないようなところであるかどうか、若し途中で襲われたら自力で解決できるかどうか、同伴者が居ても頼り得るものかどうかの反省は必要である。

その三は暴力犯罪である。警察でも昨秋以來大者を取締りを強力に行つてゐるが、まだ、沢山居る。お祭り等人的の集る場所が彼等與太者にとつては、又たかり易い場所でもある。通行の際「顔を見た」とか「笑つた」とか「通行の邪魔をした」などくつたまらぬことに因縁かけをしてきたり、不必要に話してこなくなるものであるから、こんな者には近よらぬことが第一で、若し言葉をかけてきたり、因縁を吹つかけてきても決して相手になつてはならぬ。



僻地にて思う

土倉中 覚張 尙武

今更私がいうまでもなく、へき地といふのは、かたよつた、へんびな土地といふ意味だが、へき地であるからといつて、人間がかたよつてゐる譯でもなければ、教育の目的が本質的に他と違つてゐる譯でもない。

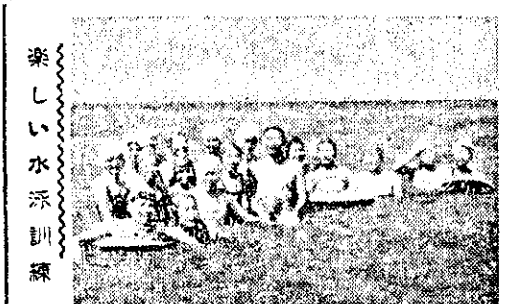
家庭での子供のしつけ

一人つ子と兄弟多い子の違い

一人つ子と兄弟が多い子の違い、一人つ子と兄弟が多い子の違い、一人つ子と兄弟が多い子の違い、一人つ子と兄弟が多い子の違い。

海と山の交換

田澤中學校では一昨年来から先にならば、必ずしもそうとはいへません。



三島郡出雲崎中學校と、山の夏交遊練習行事を實施し、集團生活を通過しての社会的公民的訓練と、心身の鍛錬を行うと共に、手紙の交換等により友情を深めて来たが、今年も去る七月二十八日から三十日迄三日間出雲崎より六十名の生徒の鍛錬を清津峡に迎え、同校も又三十日から八月一日迄三日間三年生の中四十九名の生徒を出雲崎に送り、海に馴れさせ、恐れのないそして法技術の向上をかねて無事短期の目的を達成して歸校した。

高血圧の人の「食餌療法を紹介」(終)

上村病院栄養士 奥村 隼子

▽食べて良い食べもの、前号のように制限しなければならぬ食べものに対して、(1)野菜類(刺激性でないもの)、(2)果物類、(3)牛乳類及び乳製品、(4)肉類、(5)魚類、(6)豆類、(7)海藻類、(8)キノコ類、(9)パン類、(10)油脂類、(11)調味料、(12)飲料、(13)その他。

食(牛乳と野菜食)を中心として、いろいろと變化のある食品を選び、食べる量を少なくし、刺激を避けて、栄養を維持し乍ら規則正しい食生活を営むことが最も望ましいことです。

Table with 4 columns: 食品名 (Food Name), 分量 (Amount), 備考 (Remarks), 単位 (Unit). Lists various food items and their recommended quantities for hypertension treatment.

一つの提案

夏休みに際して

毎日のように小中学生や小さな子どもたちの水死が報道され、夏山の登山中の遭難が新聞紙上に見えてくる。時には少年の獨法行爲が私たちをおどろかす。例年のことでは、あまり気にもかけない人達もあるが、然しこれはほんとはかなしい出来事である。

何百、何千、何万という日本中の青少年のうちからみれば、極く少数ではあるが、奪い人命にかゝることは、奪い人命にかゝることを、将来長い人生を生きていこうとする青少年に間違いを起させてはならない。

いわば子どもたちの問題であるというよりも、大人の問題として考えて見なければならぬことである。

夏休みは暑假期間に卒業を休ませて、心身を休養させるといふのが最初の頃のねらいであつたであらう。

最近はその消極的なことよりも、この期間をハイキングやキャンプ、登山、海水浴、水泳、旅行、動植物の採集などを通じて、積極的に暮らす方、すこし方が



警鐘

八月二日付某新聞紙上に十日町青年學級は開設して丁度十年目を迎え縣下でも歴史と内容の点でモデル學級といわれ、現在男女合せ二百数名が籍を置き、七つのコースでそれぞれ勉強し、NHKのラジオ放送などに時々活動の一面が流され、ます／＼注目されてい

るのに比べ、一步郡部に目を向けてみるにどの青年學級をみても振わない。

中里村の如きは青年學級を中止している現状だが、同じ校舎で最近ダンス講習會を二日間開いたところ集まつた青年は三百名余で廣い運動場も押す／＼と賑わつた程だ。

ダンスが悪いというのではないが、文化果つる村を振興させる原動力となるべき青年たちにはもつと大きき果さねばならぬ責任があるはずである……」とこの記事の讀後感はどうであらうか。一般村民は村の爲政者は直接深いつなかりをもつ公民館當局は當の青年は先ずおそらく一般村民を除き三者一線にそれなり自己の弁明をすることが予想される。即ち曰く

◆村当局者は——一体公民

館は何をしていゝんだ。社會教育だ／＼と音ばかり立て、さつぱり／＼こんなことでなつていゝない。

◆公民館は——この職員組織では何んと云われても手も足も出ません。お金を敷いても人間がなければ道路が出来ないと同じ理です。

◆青年は——ダンスが何んて悪い。これも社會体育であり、立派なレクリエーションだ。

こういわれてみれば全く無理からぬいゝやごもつともなことのようにも聞かれるがもつと根本的に欠除してゐるものがないか、青年學級の學習過程は公共社會の課題解決の過程である。

學級生の學習活動はそのまゝ、生活活動であり、その生活を通じて社會全体の生活領域にひろげる一つの活動であるはずである。

その場に青年が集らないうちのことは獨り公民館の責任ではなかる。

問題意識を持たないこれらの青年に意識を持たせ、且つ求めに應じて指導助言が出来ような職員組織の充實こそ急務である。

館も金も人によつて生きてくる。次代を背負う青年の育成のためを考えれば人件費等は物の數ではなはす

天照以来と出るか

長かつた梅雨もとにかく二十九日頃からあけ、気温も急上昇し、夏型の天候が現われはじめたので、この高温が八月一杯つゞけばその間一部には葉、穂首イモチの懸念もあるが、一般に七月中の悪天候による影響は消され、米作は三年連続の豊作、正に天照以来も夢ではない。

いすれにしても今夜の天候如何によつて、今年の米作は左右されるのであるが農家では「青作は昔からほめるものでない」と云ふながらもあの豪雪による遅れをこぞ克服して来た労苦を振りかえりみんなの顔も明る。

▽養蚕では縣下一の産地中魚沼、その中でも本村の特田沢地区では夏蚕は掃立卵量一、一〇〇グラムとなつてゐるが、その中の七〇%が全滅に近い被害を受けお盆下駄も買えないと主婦達は歎いてゐる。

趣味に生きる

南雲 一雄



年令八十のこえをやがて迎へようとしているこの体で、年一度も病氣らしい病氣も知らず、こうして毎日山に田畑に老いを感ぜないで働きつゝ暮して居られることを幸いに思つてゐる一人であるが、健康は何よりの幸といわれ、老いてもなおこうして達者で過してゐる私個人、別にこれがその秘訣といつたものも考へられないのであるが、言ひ得るならば、昔の趣味がこうして、健康を支えていてくれる、これが理由としか思われぬ。

朝起きて一幅の軸をすが

／＼しい氣持の中で眺める時、また夕に一日の勞を終えてこれを眺める時の氣持は私にとつて全く最上の楽しみであり慰であると思つてゐる。

私がこの趣味に頭を入れるようになったのは十七、八歳の頃と記憶してゐるが、若い頃体が弱く、毎日えい／＼と野良仕事の続く百姓の生活にはたゞ苦しみ他は見出すことができない状態にあつたので、何か楽しむべきゆとりを持ちたいと心がけていたのが、習畫の趣味の初まりであつたかと思われぬ。

どこ／＼に名賢名画があると聞けば、何をおいてもどこまでいゝも出かかないで居られず、又昔畫の知人の訪問を受ける時ややはり見ても語らねば氣がすまないもので、よほどの用のない限りそういう時には趣味の時間をついやしてしまふ現状である。

趣味を通して人と親しむれ、趣味によつてはりつめた氣持の中にもそれを和らげられることは、考えようによつては得がたいものだと思つてゐる。

この趣味をもつて以來五十年、この趣味に楽しみを持ち喜びを感じ、誰しも同じにあくせくとした毎日の中に少くなくとも慰を得ることができ、心の休養を得ることが出来たことは幸である。

つたと思つてゐる。生花でよし、体育でよし、讀書でよし、湯治でよし、趣味で別に何が悪いというものはなほと思つてゐる。

唯その趣味におぼれ、趣味に流される生活であればそれは百害あつて一利なし、趣味はやはり趣味の位置にあつて、生活の中に生かされるものであると思つのである。

日々新しい文明を創る力を持つ人間、考える力を持つ人間にとつては先ず忘れてはならないのは、いや忘れがちなやつてゐるのは心の慰ではないだろうか。

しかし一人はいざ心もしらず、果物は金を出さねば買へぬものなり／＼もつと氣楽に澤山を考へるのは欲張りではないか。

なりもの、木の沢山ある家は魅力的です。庭からかぐのこのみの生まれる家、なか／＼嬉しいじやありませんか、所が子供がたかつて罪作りだとか云つて切人が多のです。

子どもは道學者ではないから、果樹に誘惑されることとではさうか。かゝつて、かぐのこのみか庭から滅るのほは寂しく心細いことです。たかる子供の家に果樹があつたらどうでしょう。

「皇子、皇女の誕生を祝い、モモ、クリ、カキ、ナン、グミ、五本植え、健やかなる成長を祈る」と云うような風習はいかに、人口調整運動と共に、果樹増産方針もたてないと、今にひねこびれた年寄りみたいな子どもばかり育つて、面白くないことになりさうです。

野に山に、庭に畑に唐先にかぐのこのみかかみちる園に、ビタミンCがみちあふれ、おだやかな國民性が育つことなど空想しなさいと、老い先きが明るくない人もいゝかもしれません。

西九州水害に

七月二十五日西九州一帯を襲つた豪雨は長崎、熊本、佐賀その他近縣に莫大な被害を與へた。罹災被害者が明日への生活に困窮をきたしてゐます。

今同縣及日赤等が主体となつて擴く縣民から義捐金品の募集をすることとし、本村においても民生委員會が主体となり、婦人會を通じ

て行くことになりましたので、これが趣旨に賛同の上募金品に御協力下さい。

人事交流(役場内)

渡邊村長は農業委員會の統合を機に人事の交流を行う旨を明して十日次の通りの配替を發表。

○印係長カツコ内前任 村山武(保健衛生)

▽事務 村山武(保健衛生)

果物節考

幾年月を艱難辛苦やつと見えず實を持ち歸つてみれば、永々待つていた筈の君は、土の下。

香りも高きクマナを、大子の墓前に供えたまは、田治守守は息絶えたといふ古い昔のミカン渡來記、今の子はきつと知らないでしよう。

ミカンは、冬には必ず現れるものと決めています。春には桃、ナツミカン、

サクランボ、暑くなつてピワ、イチゴ、マクワウリ、ナン、スイカ、ブドウ、秋に柿、リンゴと世界各國のうち日本ほど果物の種類が多くなるから、田治守守の悲願は、今こそ實現されて、時非香木實の絶え間なき國、うまし園ぞアキツンマヤマトの國は、といえましよう。

サクラ、サクランボ、暑くなつてピワ、イチゴ、マクワウリ、ナン、スイカ、ブドウ、秋に柿、リンゴと世界各國のうち日本ほど果物の種類が多くなるから、田治守守の悲願は、今こそ實現されて、時非香木實の絶え間なき國、うまし園ぞアキツンマヤマトの國は、といえましよう。

